



平成 30 年 3 月 15 日

各 位

会社名 富士通コンポーネント株式会社
代表者名 代表取締役社長 近藤 博昭
(コード番号 6719 東証第 2 部)
問合せ先 取締役 倉本 雅晴
(TEL 03-3450-1601)

当社の親会社 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 達也
(コード番号 6702 東証、名証、各市場 1 部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 10 月 16 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	49,700	1,000	1,100	800	54.68
今回修正予想 (B)	49,200	620	520	160	10.94
増減額 (B-A)	△500	△380	△580	△640	—
増減率 (%)	△1.0	△38.0	△52.7	△80.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	48,664	998	709	469	36.17

2. 修正の理由

第 4 四半期に入り、急激な円高が進行しております。また、一部の海外自動車メーカーでの完成車の生産減による当社製品への所要減が顕在化しました。このため、産業機器向けやその他の好調な市場への拡販を行いました。売上高は前回発表予想値を若干下回る見込みです。

営業利益につきましては、前述の影響に加え、アジア通貨高による海外工場での製品調達コストの増加、貴金属や銅などの素材費の高騰等のコストアップ影響があり、これに対して生産性改善やその他の費用圧縮等の改善施策を行いました。コストアップ要因のすべてをカバーできず、前回発表予想値を下回る見込みです。経常利益につきましては、第 4 四半期に入ってから円高の進行による外貨建債権債務の評価替えに伴う為替差損の発生が見込まれること、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前記の理由により、それぞれ前回発表予想値を下回る見込みです。

以 上